006124_胃腫瘍粘膜下層剥離術

ステップ名称		ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	ステップ5	
		1日前	基準日			1日後	2日後～4日後	5日後	6日後
			術前	術中	術後				
到達目標		剥離術に対する心身の準備ができる		合併症なく剥離術が終了する	疼痛がない		腹痛・嘔気がない	日常生活の注意点を理解し退院できる	
								腹痛・嘔気がない	
処置	文章	弾性ストッキングのサイズを測ります	検査の前に歯磨きをします	心電図などのモニターをつけます	覚醒するまで心電図モニターをつけます		2日後21時頃、点滴終了後抜去		10時ごろに退院です
			手術前に弾性ストッキングを着用します	酸素を鼻から投与します	必要時、酸素を鼻から投与します				
			義歯･腕時計などをはずします		トイレ歩行後ストッキングをはずします				
検査						血液検査があります			
				検査予約		腹、胸のレントゲンがあります			
						午前中に胃カメラがあります			
体温・呼吸・循環	文章	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	10時　19時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	
		入院時に身長体重を計ります							
注射			10時から持続点滴が始まります			持続点滴をしています	終了後点滴を抜きます		
投薬		持参薬があればおしらせください	7時　胃薬を少量の水で服用します			胃カメラ後から指示の持参薬を服用します 抗血栓薬があれば午後から再開します			退院処方があります 抗潰瘍薬・粘膜保護薬を1ヶ月間服用します
		22時頃に下剤を服用します				胃カメラ後から抗潰瘍薬を服用します			
清潔・排泄							2日後シャワー浴ができます		退院後、制限はありません
食事		制限はありません	朝から絶飲絶食です		絶飲絶食です	胃カメラ終了1時間後から飲水ができます	2日後朝から三分粥食が始まります 3日後朝から潰瘍A食(五分粥)です 4日後朝から潰瘍B食(軟飯)です		退院後、熱いもの・香辛料の強い物は避けてください お酒は1ヶ月間禁止です
活動・安静度		制限はありません			ベッド上で安静にします 意識がはっきりすれば、トイレまでの歩行ができます	病棟内の歩行ができます	2日後から制限はありません		退院後1週間は力仕事を控えてください
教育・指導・説明・リハビリ		看護師から手術について説明があります 必要物品の確認をします			主治医から手術結果について説明があります	栄養士から食事について説明があります			看護師から日常生活や次回受診日について説明があります
		薬剤師から薬について説明があります							退院までに病理結果が出なかった場合、次回外来受診時に説明します
		特別な栄養管理の必要性（有）							
書類		手術同意書を看護師詰所に提出してください							退院療養計画書、請求書を渡します
		入院診療計画書を渡します							
手術									